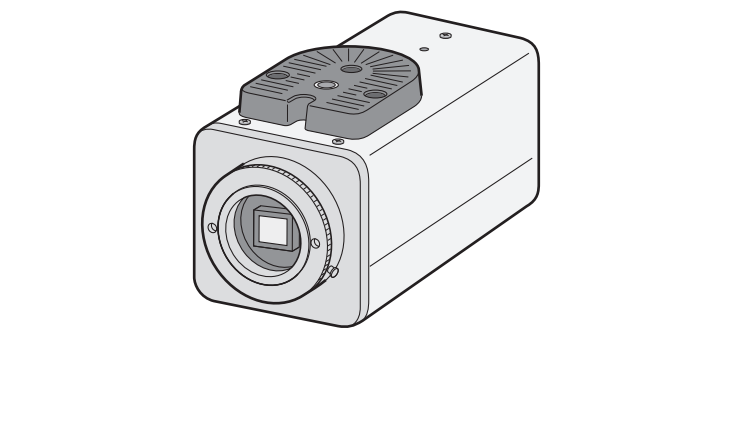
カラービデオカメラ　取扱説明書

型名 **TK-WD9600**

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST1310-001A

本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。
メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
☞　：参考ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

おもな特長

- ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能により、照度差の大きい場所でも、明暗差のある被写体を鮮明に見ることができます。従来方式では困難だった中間輝度も自然な色調で整え、人物や背景を含めた画面全体をクッキリ、鮮明に再現します。
- メニューの日本語化により、設定がわかりやすくなりました。
- アスペクト比を 4：3 と 16：9 から選ぶことが可能です。
- BNC ケーブル 800 m 接続時でも 140 mA の低消費電力駆動を実現しました。当社従来モデル比のおよそ 60% の電力で 24 時間・365 日安全監視のサポートを行ないます。

正しくお使いいただくためのご注意

■ 保管および使用場所

- 設置する場合、次のような場所は避けてください。
  - 雨や湿気にさらされる場所
  - 厨房など蒸気や油分の多い場所
  - 使用周囲温度（－ 10℃～ 50℃）を超える場所
  - 腐食性のガスが発生する場所
  - 放射線や X 線および強力な電波や磁気の発生する場所
  - 振動する場所
  - ほこりの多い場所
- ラジオやテレビの送信アンテナの近く、変圧器・モーターなど強い電磁波が発生する機器の近く、またはトランシーバーや携帯など無線機器の近くで本機を使うと、画像にノイズがのったり、色ムラを起こすことがあります。
- 本機は屋内用カラービデオカメラです。屋外で使用する場合は、屋外用カメラハウジング（別売）が必要です。

■ お手入れについて

- 本機の汚れは乾いた柔らかい布などで取ってください。
  シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。

■ 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため電源を切ってください。

■ 著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像の著作者であるか、または著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- また、複写体の権利（著）が存在する場合は、撮影の許諾、利用（加工）の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

■ 免責について

- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や損害に対する責任は一切負いません。

■ その他

- ［AGC/ 電子増感］設定を "OFF" 以外にしたとき、暗い画像では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- ［AGC/ 電子増感］設定が "x2"、"x4"、"x8"、"x16" のとき、［WDR レベル］をプラス側に設定すると、カメラの調光が被写体に追従しないことがあります。その場合、［AGC/ 電子増感］設定を "LOW"、"MID"、"HIGH" に設定するか、［WDR レベル］を "ノーマル" 近辺に下げてご使用ください。
- ［EASY D/N］設定を " オート " にすると、暗い場所では白黒モードとなります。このとき、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。また、モードの切り換わり時に画面の明るい部分が強調され、見えにくくなることがありますが、故障ではありません。
- カメラを設置場所に取り付ける前に、使用するレンズをカメラに取り付けて、動作させ、バックフォーカスを確認してから取り付けてください。
- 本機のホワイトバランスを "ATW ワイド "、"ATW"、"ATW 屋内 " に設定したとき、被写体の状況により自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 本機を寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温に 1 時間程度放置したあと、電源を入れてください。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって、電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- 本機に搭載の 3 次元ノイズリダクションは動きのある被写体では原理上残像が生じることがあります。［DNR モード］設定を "OFF" 以外で使用したとき、残像が生じやすくなりますが故障ではありません。
- 低照度時、輝度変化の激しい被写体や強い逆光がある被写体では、画面の暗い部分にノイズが目立つことがありますが、故障ではありません。
- TK-WD9600 で使用できる CCU（カメラコントロールユニット）は TK-U1601(A)/TK-U1901(A) です。

- 大切な録画の場合は必ず事前にためし撮りをし、正常に録画されることをご確認ください。
- ビデオカメラや録画機器の使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
- 設置説明に従わない不完全な取り付けにより、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。

接続・設置

本機をお使いになるために、各手順に従って接続 / 設置してください。

レンズを取り付ける

1 レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認する

- 本機は CS マウントレンズ対応です。
- C マウントレンズを使用する場合は、C マウントアダプターが必要です。C マウントアダプターについては、お買い上げ販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
  下図の寸法（a）が長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

フランジバック（b）	寸法（a）
12.5mm	5.5mm 以下

2 レンズを時計方向に回して、カメラにしっかり取り付ける

3 DC アイリスレンズの場合、ピン配置を確認してレンズケーブルを IRIS 端子に接続する

メモ
- ビデオアイリスレンズは使用できません。
- レンズケーブルのプラグが異なる場合は、4 ピンプラグを使用して接続します。4 ピンプラグについては、お買い上げ販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

4 ピンプラグ

ピン番号	DC アイリスレンズ
1	制動（－）
2	制動（＋）
3	駆動（＋）
4	駆動（－）

各種ケーブルを接続する

モニターに接続

カメラ映像を調整するときに接続します。ビデオケーブルで接続してください。

ご注意　CCU には接続しないでください。故障の原因となります。

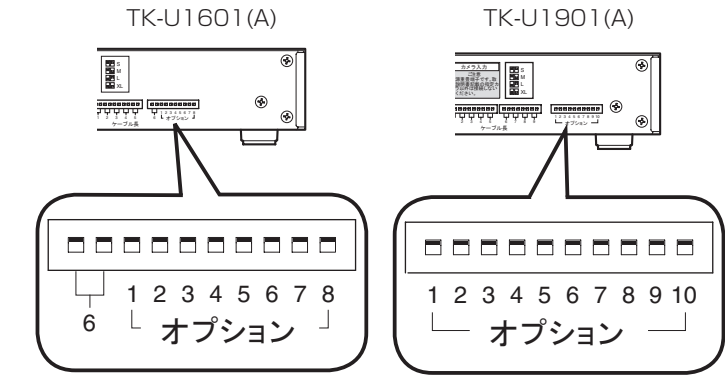
CCU（カメラコントロールユニット）に接続

本機に電源が供給されると、側面部の IRIS 端子横にある［POWER］ランプが点灯します。
使用するケーブルにより最大延長距離は下記のようになります。

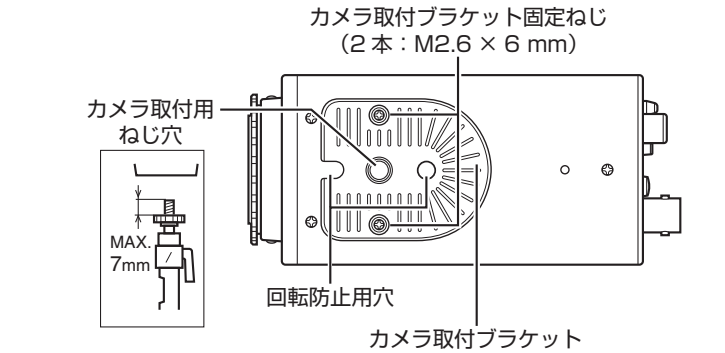
適合 CCU	ケーブルの種類	最大延長距離
TK-U1601(A)/ TK-U1901(A)	3C-2V	300m
	5C-2V	500m
	7C-2V	500m
	5C-FB	800m

裏のページへすすむ

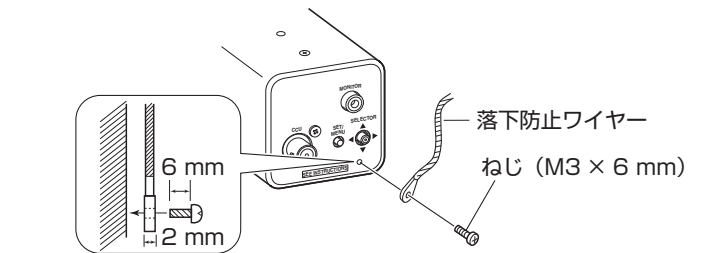
■ CCU のオプションスイッチを設定する

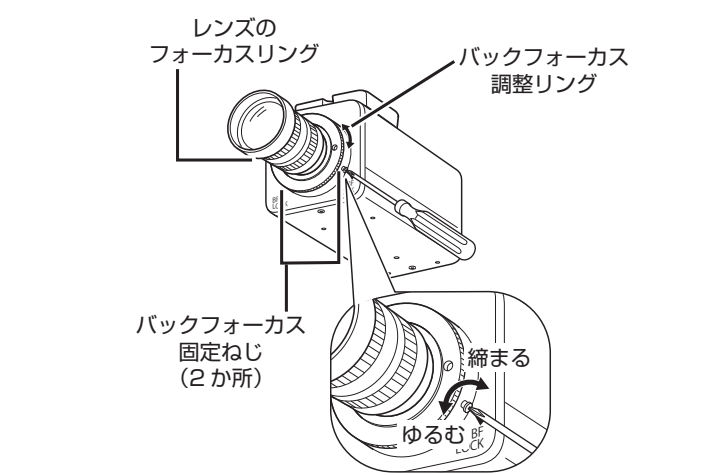
- 本機を接続するカメラ入力端子の番号に相当する CCU のオプションスイッチを下側にしてください。（オプションスイッチは CCU の背面に配置されています。）

ご注意 CCU にカメラを接続しないカメラ入力端子がある場合は、そのカメラ入力端子の番号に相当する CCU のオプションスイッチを下側にしてください。スイッチを上側にして使用した場合、映像にノイズが入る場合があります。

カメラをフィクサーや回転台などに取り付ける

- 本機をフィクサーや回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ねじ穴を使用します。（ねじの長さ 7 mm 以下）
- 出荷時、カメラ取付ブラケットはカメラ上面に取り付けられていますが、下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ねじ 2 本をはずして付け換えます。ねじは確実に固定してください。

ご注意
- カメラ取付用ねじの長さは取り付け面より 7 mm 以下のものを使ってください。カメラ取付ブラケット固定ねじの長さは 6 mm 以下のもの使ってください。指定の長さより長いねじは絶対に使わないでください。内部を破損するおそれがあります。
- 天井への取り付けの際は、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用してください。

■ 落下防止についてのご注意

- 壁または天井に取り付けるには、特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- フィクサー、回転台などに取り付ける場合は、落下防止のため回転防止用穴を利用し、確実に取り付けてください。
- 落下防止のため本機を強度の強いところ（天井スラブまたはチャンネル）と落下防止ワイヤーで接続してください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質（絶縁性）などにも十分注意してください。
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじ（M3 × 6 mm）を利用してください。6 mm より長いねじを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

バックフォーカスを調整する

工場出荷時、最も適用範囲の広い点に調整されていますが、ズームレンズや、レンズのフォーカスリングでピントが合わないときは再調整が必要です。

ご注意 バックフォーカス固定ねじは、ゆるめすぎると外れますのでご注意ください。

■ 固定焦点レンズの場合

レンズのフォーカスリングを調整して、ピントが合わないときは調整をしてください。

1. バックフォーカス固定ねじ（2 か所）を、プラスドライバーで反時計方向に回してゆるめる
2. 撮影する被写体、あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影する
3. レンズのフォーカスリングを∞にする
4. バックフォーカス調整リングを回して、ピントを最良にする
5. バックフォーカス固定ねじ（2 か所）を時計方向に回して締め付け、確実に固定する

■ ズームレンズの場合

ズーミング操作（望遠〜広角）をして、ピントがずれるときは調整をしてください。

1. バックフォーカス固定ねじ（2 か所）を、プラスドライバーで反時計方向に回してゆるめる
2. 撮影する被写体、あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影する
3. ズームを望遠にし、レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせる
4. ズームを広角にし、バックフォーカス調整リングを回してピントを合わせる
5. 手順 3 〜 4 を 2、3 回繰り返す
6. バックフォーカス固定ねじ（2 か所）を時計方向に回して締め付け、確実に固定する

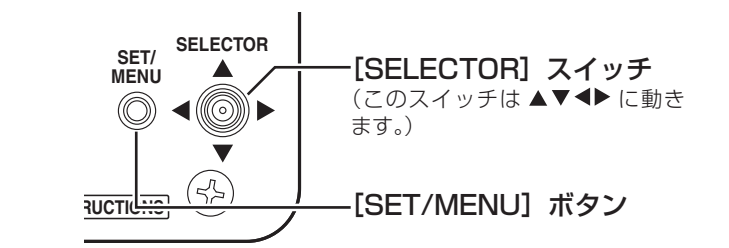
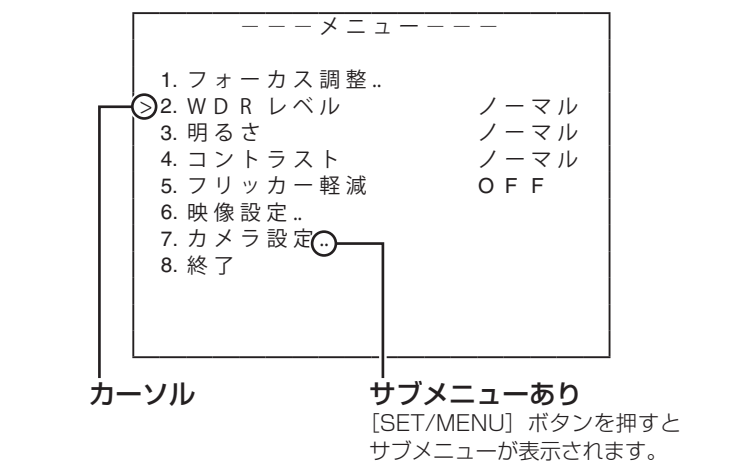
メモ
- バックフォーカス調整リングを回したとき、レンズのアイリスケーブル長が足りない場合は、いったんバックフォーカス固定ねじをとめ、レンズを回転させたあとに再度バックフォーカス固定ねじをゆるめてバックフォーカスをとり直してください。
- ［フォーカス調整］モードに入るとフォーカスの調整がしやすくなります。
  ☞ 「フォーカスの微調整をする（フォーカス調整）」(P.2)
- 被写体が明るい場合は、ND フィルターを使用すると、より正確なバックフォーカス調整が可能です。（ND フィルターとは、レンズに入射する光量を全波長域均等に減少させる働きをするフィルターです）

メニュー設定

メニュー設定の方法および基本的な設定の説明をいたします。必要に応じて各種設定をしてください。
設定メニューの詳細については、「メニュー項目一覧」および「メニュー詳細」(P.3) を参照してください。

■ メニュー設定の方法

基本的なメニュー設定の手順です。

1. ［SET/MENU］ボタンを 2 秒以上押す
   ［メニュー］画面が表示されます。

2. ［SELECTOR］スイッチを［▲/▼］方向に押して、［メニュー］画面のカーソルを設定したい項目にあわせる
   - サブメニューがある項目（末尾に ".." のある項目）の場合は、［SET/MENU］ボタンを押して、サブメニュー画面を表示します。

3. ［SELECTOR］スイッチを［◀/▶］方向に押して設定値を変更する
   このときスイッチの長押しをすると、表示されたメニューの内容が反映されるまでに時間がかかる場合があります。
4. 設定が終了したら、［メニュー］画面の［8．終了］を選択し、［SET/MENU］ボタンを押してメニューモードを終了する

フォーカスの微調整をする（フォーカス調整）

DC アイリスレンズのフォーカス調整をするときは、［フォーカス調整］モードで行うと調整がしやすくなります。［フォーカス調整］モードでは強制的にアイリスを開放し、被写界深度を浅くします。（レンズの取扱説明書も合わせてご覧ください。）

1. ［SET/MENU］ボタンを 2 秒以上押す
2. ［SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［1. フォーカス調整 ..］を選択し、［SET/MENU］ボタンを押す
   ［フォーカス調整］画面が表示されます。
3. レンズのフォーカス調整をする
   レンズのフォーカス調整でピントが合わないときは、バックフォーカスの調整が必要です。
   ☞ 「バックフォーカスを調整する」(P.2)
4. 設定が終了したら、［戻る］が選択されていることを確認してから［SET/MENU］ボタンを押し、フォーカス調整モードを終了する

メモ ［ダイナミック点灯］設定が［OFF］になっていることを確認してください。

逆光補正を設定する（WDR レベル）

ワイドダイナミックレンジ（WDR）機能の設定を行います。
太陽光など明るい部分（逆光）の状況に応じて設定してください。映像の明暗差が大きく、暗部を見やすくするときに数値を大きくし、映像が明るく明暗差が小さいときに数値を小さくします。

1. ［SET/MENU］ボタンを 2 秒以上押す
2. ［SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［2. WDR レベル］を選択する
3. ［SELECTOR］スイッチを［◀/▶］に押して［-10］〜［ノーマル］〜［10］の中から選択する

メモ
- ワイドダイナミックレンジ機能により、照度差の大きい場所（逆光や西日などの影響を受けやすい屋外と屋内の出入り口や窓の近くなど）を撮影しても、同一画面内の明暗差の大きい被写体を鮮明にそして自然な状態で見ることができます。
- レベルは使用環境下で確認してから設定してください。

映像の明るさを設定する（明るさ）

映像全体の明るさを調整します。映像全体をより明るくするときに数値を大きくし、映像全体をより暗くするときに数値を小さくします。

1. ［SET/MENU］ボタンを 2 秒以上押す
2. ［SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［3. 明るさ］を選択する
3. ［SELECTOR］スイッチを［◀/▶］に押して［-10］〜［ノーマル］〜［10］の中から選択する

映像のコントラストを設定する（コントラスト）

映像全体のコントラストを調整します。暗部のコントラストを高くするときに数値を大きくし、低くするときに数値を小さくします。

1. ［SET/MENU］ボタンを 2 秒以上押す
2. ［SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［4. コントラスト］を選択する
3. ［SELECTOR］スイッチを［◀/▶］に押して［-10］〜［ノーマル］〜［10］の中から選択する

ちらつきを軽減する（フリッカー軽減）

1000 lx 以下の蛍光灯下でのフリッカー（ちらつき）を軽減するときに［フリッカー軽減］を設定します。ただし、蛍光灯を直接撮影したり、撮影する画角によってはフリッカーが発生する場合があります。

1. ［SET/MENU］ボタンを 2 秒以上押す
2. ［SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［5. フリッカー軽減］を選択する
3. ［SELECTOR］スイッチを［◀/▶］に押して［ON］を選択する

メモ ［ダイナミック点灯］設定が［OFF］のときのみご利用になれます。

次のシートへすすむ

メニュー項目一覧

- メニュー
  - 1. フォーカス調整 ..
  - 2. WDR レベル
    - WDR カスタム設定
      - WDR PRIORITY
      - WDR BIAS
      - WDR LIMIT
      - EXP BIAS
      - 戻る
  - 3. 明るさ
  - 4. コントラスト
  - 5. フリッカー軽減
  - 6. 映像設定 ..
    - AGC/ 電子増感
    - ホワイトバランス
      - マニュアル ..
    - カラーレベル
    - エンハンスレベル
    - 解像度モード
    - DNR モード
    - WDR エリア設定
    - 戻る
  - 7. カメラ設定 ..
    - レンズ調整 ..
      - DC ゲイン
      - DC オフセット
      - アイリス TH
      - 戻る
    - EASY D/N
    - ダイナミック点灯
    - カメラタイトル
    - カメラタイトル編集
    - プライバシーマスク ..
      - マスク 1 ～ 4
      - 戻る
    - 映像反転
    - 設定初期化 ..
      - 戻る
      - 初期化する
    - 戻る
  - 8. 終了

メニュー詳細

設定値内、**太字**は初期値となります。

メニュー

フォーカス調整

DC アイリスレンズのフォーカス調整時に、［1. フォーカス調整 ..］を選択し、［フォーカス調整］画面に入ると強制的にアイリスを開放し、被写界深度を浅くすることでフォーカスの調整がしやすくなります。

メモ　［ダイナミック点灯］設定が［OFF］になっていることを確認してください。

WDR レベル

ワイドダイナミックレンジ（WDR）機能の設定をします。太陽光など明るい部分（逆光）の状況に応じて設定してください。映像の明暗差が大きく、暗部を見やすくするときに数値を大きくし、映像が明るく明暗差が小さいときに数値を小さくします。 カスタム ..：ワイドダイナミックレンジを手動調整します。［SET/MENU］ボタンを押すと、［WDR カスタム設定］画面が表示されます。 メモ　［フリッカー軽減］設定が［ON］、および［ダイナミック点灯］設定が［ON］のときには設定変更できません。	設定値： カスタム ... -10 ～ **ノーマル** ～ 10

WDR カスタム設定

WDR PRIORITY

明るいところと暗いところのどちらを優先させたワイドダイナミックレンジに設定するか選択します。 明部優先：　明るいところを見やすくします。 暗部優先：　暗いところを見やすくします。	設定値： **明部優先**, 暗部優先

WDR BIAS

ワイドダイナミックレンジの低中輝度レベルを設定します。［WDR PRIORITY］設定が［明部優先］の場合、数値を大きくすると明るく、数値を小さくすると暗くなります。［WDR PRIORITY］設定が［暗部優先］の場合は、［明部優先］での動作と逆になります。	設定値： -36 ～ **0** ～ 36

WDR LIMIT

ワイドダイナミックレンジの最大値を設定します。明暗差の大きい被写体を撮影するときに数値を大きくし、明暗差の小さい被写体を撮影するときは数値を小さくします。	設定値： 0 ～ **30** ～ 36

EXP BIAS

被写体の輝度レベルに対する出力特性を調整します。暗い被写体をより鮮明にするときに数値を大きくし、明るい被写体をより鮮明にするときに数値を小さくします。 メモ　設定値が 15 以上でハンチングが発生することがあります。その場合は、設定値を下げてご使用ください。	設定値： -18 ～ **0** ～ 18

戻る

［メニュー］画面に戻ります。	―

明るさ

映像全体の明るさを調整します。映像全体をより明るくするときに数値を大きくし、映像全体をより暗くするときに数値を小さくします。 メモ　設定値を大きくするとノイズが目立つことがあります。	設定値： -10 ～ **ノーマル** ～ 10

コントラスト

映像のコントラストを調整します。暗部のコントラストを高くするときに数値を大きくし、低くするときに数値を小さくします。 メモ　明部周辺の暗部に出るノイズは、コントラストを大きくすることで改善することがあります。	設定値： -10 ～ **ノーマル** ～ 10

フリッカー軽減

1000lx 以下の蛍光灯下でのフリッカー（ちらつき）を軽減するときに設定します。 メモ ・［ダイナミック点灯］設定が［OFF］のときのみ、ご利用になれます。 ・［フリッカー軽減］設定を［ON］にすると、［WDR レベル］が直前の設定値で固定され、変更できなくなります。［フリッカー軽減］を［OFF］に戻すと［WDR レベル］は直前の設定値に戻ります。 ・蛍光灯の種類によっては、蛍光灯を直接撮影したり、撮影する画角によってはフリッカーが発生する場合があります。	設定値： **OFF**, ON

映像設定

AGC/ 電子増感

AGC（自動ゲイン調整）と被写体が暗くなったとき、自動的に露光時間を長くして感度が何倍まで上がるかを設定します。	設定値： OFF, **LOW**, MID, HIGH, x2, x4, x8, x16

設定値とゲイン

（例）× 4 に設定した場合
被写体が暗くなるにつれ、ゲインが高くなり、× 2 の電子増感が機能して画面が明るくなります。さらに被写体が暗くなると、× 4 の電子増感が機能し画面が明るくなります。これより被写体が暗くなるとゲインが最大値まで上がり、より明るくなります。
※電子増感が機能すると、感度は上がりますが動きは不自然なものとなります。

メモ
・ゲインを上げると、暗い場所では画面がザラつきます。
・暗い場所で AGC/ 電子増感を× 2 以上に設定時、
　・一時的に映像がロックしたり、ノイズや白キズが目立つことがあります。
　・一時的に画面全体が暗い状態から明るい状態に変化します。
　・特に暗い場合、ダイナミックレンジ（WDR）機能は動作しません。
　・［ダイナミック点灯］設定が［ON］のときはご利用になれません。
　・［EASY D/N］設定が［オート］のときは、［OFF/LOW/MID］はご利用になれません。

ホワイトバランス

ホワイトバランスが設定できます。 ATW ワイド：　広い色温度（2500K ～ 10000K 以上）の範囲に対応します。 ATW：　照明の色温度（色温度 3200K ～ 8000K）に対応して自動的にホワイトバランスを調整します。 ATW 屋内：　主に蛍光灯などの室内照明の色温度（3000K ～ 5000K）の範囲に対応して、自動的にホワイトバランスを調整します。 AWB（セット）：　［SET/MENU］ボタンを押すとホワイトバランスを自動調整してプリセットします。 マニュアル ..：　［マニュアルホワイトバランス］画面を表示します。	設定値： ATW ワイド , **ATW,** ATW 屋内 , AWB（セット）, マニュアル ..

マニュアルホワイトバランス

R-B	R（赤）/B（青）の色相を調整します。R 側に設定するほど赤みが強くなり、B 側に設定するほど青みが強くなります。	R ～ B
戻る	［映像設定］画面に戻ります。	―

カラーレベル

映像信号の色レベルを調整します。色を濃くするときに数値を大きくし、色を薄くするときに数値を小さくします。 メモ　色の濃い被写体の場合、チリチリしたノイズが見えることがあります。その場合はカラーレベル設定を下げてご使用ください。	設定値： -5 ～ **ノーマル** ～ 5

エンハンスレベル

映像の鮮明さを強調する輪郭補正を調整します。輪郭をシャープにしたいときに［HIGH］、輪郭をソフトにしたいときに［LOW］に設定します。 メモ　エンハンスレベル［HIGH］は、低照度時により効果が現れるように最適化されています。	設定値： LOW, **MID**, HIGH

解像度モード

使用環境に合わせて解像度モードを選択します。 ノーマル：　アスペクト比 4：3 高解像度：　アスペクト比 4：3 / 高解像度モード 16：9：　アスペクト比 16：9 / 高解像度モード メモ ・［高解像度］および［16：9］を選択すると、解像度は上がりますが、ノイズが目立ちやすくなります。 ・［高解像度］および［16：9］に設定すると、［ノーマル］と比較し画角が変化します。	設定値： **ノーマル**, 高解像度 , 16：9

DNR モード

ノイズを抑えて撮影します。［HIGH］に設定するとノイズ軽減効果が上がりますが、動きのある被写体では残像が生じやすくなります。	設定値： **OFF**, LOW, MID, HIGH

裏のページへすすむ

WDR エリア設定

測光エリアを選択します。 ノーマル： エリアを指定せずに全画面で測光します。 エリア1～4: 固定の測光エリアから測光します。	設定値： **ノーマル**, エリア1～4, カスタム ..

測光エリア

エリア１　エリア２　エリア３　エリア４

カスタム ..：編集したエリアをもとに測光します。

測光エリア（カスタム）の編集方法

1) [SET/MENU］ボタンを押すごとにエリア設定の枠が白→緑→赤→白と変化するので、下記のように枠を調整して、測光したい位置に枠を合わせる
- ●枠が白のとき：[▲/▼/◀/▶］で枠を移動する
- ●枠が緑のとき：[▲/▼/◀/▶］で枠を大きくする
- ●枠が赤のとき：[▲/▼/◀/▶］で枠を小さくする

2) [SET/MENU］ボタンを２秒以上押して、映像設定メニューに戻る

メモ
- WDR エリア設定は、画面の端まで設定できません。
- 映像反転が［ON］のときは［- - -］表示となり、WDR エリア設定はできません。このときの WDR エリアは［ノーマル］で動作します。
- WDR エリア設定後、映像反転設定を ON/OFF した場合、WDR エリア設定は［ノーマル］になります。
- カスタム編集にて、枠が「緑」または「赤」のときに、映像の急激な輝度変化が発生すると、枠が「白」に切り換わることがありますのでご注意ください。

戻る

［メニュー］画面に戻ります。	―

カメラ設定

レンズ調整

DC アイリスレンズを使用するときに設定します。

レンズ調整

項目	説明	設定値
DC ゲイン	DC アイリスレンズの動作スピードを調整するときに使用します。使用レンズにあわせて調整してください。数値を大きくすると動作スピードが速くなります。	設定値： 0～**20**～255
DC オフセット	DC オートアイリス動作をコントロールするための基準レベル(明るさ)を設定します。設定値を大きくしていくとレンズを絞るため、暗くなります。	設定値： 50～**100**～200
アイリス TH	DC オートアイリスが動作するゲイン閾値を設定します。 ［ダイナミック点灯］設定が［ON］のときに明るさを変更する場合、使用します。 設定値を大きくするとハンチングが発生することがあります。通常は０以下の設定値でご使用ください。	設定値： -48～**-18**～20
戻る	［カメラ設定］画面に戻ります。	―

EASY D/N

昼と夜などのように明るさが変わる被写体を連続して撮影する場合［オート］に設定します。明るい場合はカラー映像、暗い場合は白黒映像になります。	設定値： **OFF**, オート

メモ
- ［AGC/ 電子増感］設定が［OFF/LOW/MID］のときに［EASY D/N］設定を［オート］にすると［AGC/ 電子増感］設定が自動的に［HIGH］に変更されます。［EASY D/N］設定を［OFF］に戻すと［AGC/電子増感］設定は直前の設定値となります。
- ［ダイナミック点灯］設定が［OFF］のときのみご利用になれます。

ダイナミック点灯

ダイナミック点灯している被写体が途切れたり、消えたりするときに［ON］に設定します。	設定値： **OFF**, ON

メモ
- ［フリッカー軽減］設定が［OFF］のときのみ、ご利用になれます。
- ［ダイナミック点灯］設定が［ON］のときには、[WDR レベル]、[AGC/ 電子増感］設定はできません。また、[EASY D/N］はご利用できません。

カメラタイトル

カメラタイトル表示の設定をします。 設定を［ON］にすると、メニュー表示をしていない場合、画面最下部左からカメラタイトルを表示します。	設定値： **OFF**, ON

カメラタイトル編集

カメラタイトルを編集します。カメラタイトルは最大 20 文字まで入力できます。

カメラタイトルの編集方法

1) [SET/MENU］ボタンを２秒以上押す

2) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［7. カメラ設定 ..］を選択し、[SET/MENU］ボタンを押す
［カメラ設定］画面が表示されます。

3) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［カメラタイトル編集］を選択し、[SET/MENU］ボタンを押す
カーソルが［カメラタイトル編集］の下に移動します。

4) [SELECTOR］スイッチを［◀/▶］に押して文字を選択し、[SET/MENU］ボタンを押す
文字の入力が決定し、カーソルが次の文字の領域に移動します。さらに文字を入力するときは、手順 4) を繰り返します。
入力可能文字と文字の出現の順番は次のとおりです。

スペース	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ
ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
ャ	ュ	ョ	ッ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	バ	ビ	ブ
ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	.	,	’	-	:	／	（	）	＜	＞	゛	゜			

5) 文字の入力が終わったら、[SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押してカメラタイトルの編集を終了する

メモ　［カメラタイトル編集］でタイトルの先頭にスペースを入れると、カメラタイトルの表示位置を左から右に移動することができます。

プライバシーマスク

撮影画面の中で、写したくない部分を設定し、その部分をマスキングし写さないようにします。

メモ
- マスクは最大で４か所に設定できます。
- プライバシーマスクの編集画面では、マスクのみの表示となります。
- カメラタイトル設定を［ON］にした場合、カメラタイトル表示エリア（20 文字）はマスクされません。

マスク１～４	マスク１～４それぞれの番号で、プライバシーマスクが個別に設定できます。	設定値： **OFF**, ON..
戻る	［カメラ設定］画面に戻ります。	―

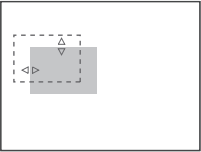
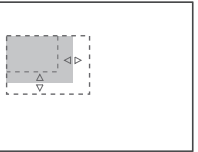
プライバシーマスクの設定方法

1) [SET/MENU］ボタンを２秒以上押す

2) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［7. カメラ設定 ..］を選択し、[SET/MENU］ボタンを押す
［カメラ設定］画面が表示されます。

3) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押して［プライバシーマスク ..］を選択し、[SET/MENU］ボタンを押す
［プライバシーマスク］画面が表示されます。

4) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼］に押してマスク番号を選択し、[◀/▶］で［ON..］を選択して［SET/MENU］ボタンを押す
マスクが白で表示されます。

5) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼/◀/▶］に押してマスクを移動し、基準位置（マスクの左端 / 上端）を決めて、[SET/MENU］ボタンを押す
マスクが青で表示されます。

6) [SELECTOR］スイッチを［▲/▼/◀/▶］に押してマスクの右端 / 下端を編集し、[SET/MENU］ボタンを押す
マスクが白で表示されます。さらにマスクの設定をするときは、手順 5) ～ 6) を繰り返します。

7) 設定が終わったら、[SET/MENU］ボタンを２秒以上押して、カメラ設定に戻る

メモ
- マスク設定は、画面の端まで設定できません。
- マスク設定は、[映像反転］設定を［OFF］のときに行なってください。［ON］にすると［SELECTOR］スイッチの動作は逆になります。

映像反転

［ON］にすると上下左右に反転した映像を表示します。 設置後、映像を上下左右反転したい場合にご使用ください。	設定値： **OFF**, ON

メモ
- メニュー表示の文字は反転しません。
- プライバシーマスクを設定しているときは映像と同様に反転します。

設定初期化

戻る：　　［カメラ設定］画面に戻ります。 初期化する：すべての設定を初期化します。	―

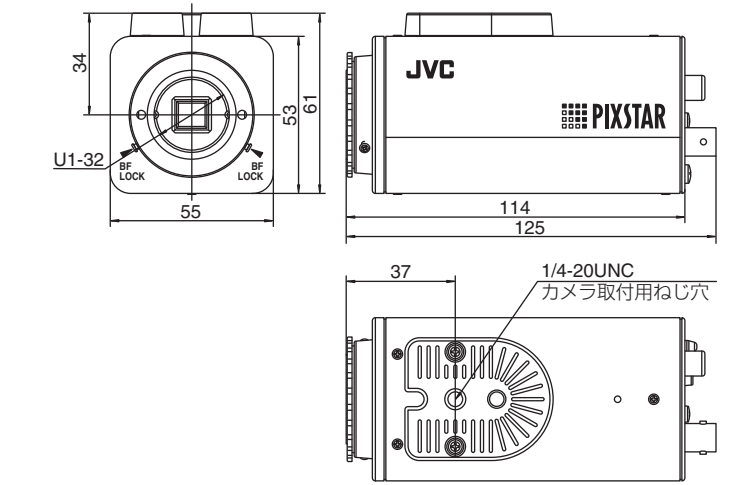
戻る

［メニュー］画面に戻ります。	―

終了

撮影画面に戻ります。	―

仕様

項目	仕様
撮像素子	：1/3 型近似 WDR デジタルイメージ固体撮像デバイス
有効画素数	：41 万画素（768(H) × 540(V)）（高解像度モード）
走査周波数	：水平 15.734 kHz、垂直 59.94 Hz
水平解像度	：520 TV 本（高解像度モード）
映像 S/N 比	：52 dB（標準、AGC OFF、エンハンスレベル LOW、DNR HIGH）
最低被写体照度	：カラー映像：0.5 lx（標準、50 %、F1.2、AGC HIGH） 白黒映像：0.3 lx（標準、50 %、F1.2、AGC HIGH）
レンズマウント	：CS マウント
同期方式	：内部同期
電源	：CCU から供給
消費電流	：140 mA
周囲温度	：-10 ℃～ 50 ℃（動作） 0 ℃～ 35 ℃（推奨）
質量	：300 g
適合 CCU	：TK-U1601(A)/TK-U1901(A)
推奨レンズ	：TG10Z0513FCS（CBC 株式会社製）
添付物・付属品	：保証書× 1 ご相談窓口案内× 1 安全上のご注意× 1 取扱説明書× 1
■外形寸法	：55 mm × 61 mm × 125 mm（幅×高さ×奥行き）

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

こんなときは

症状	処置
動作が不安定になる。 映像が出ない。	CCU 接続ケーブルを最大延長距離以下でご使用ください。また、CCU の電源表示灯が点滅している場合や、CCU の電源表示灯が点灯しているにもかかわらず映像が出ない場合には、CCU の電源を切り、お買い上げ販売店またはご相談窓口までお問い合せください。
カメラタイトルが表示されない。	［カメラタイトル］メニュー項目を［ON］に設定してください。

保証とアフターサービスについて

■ 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日から１年間の通常保証と２年間の追加延長保証の合計３年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他の詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■ 消耗部品について

下記部品は消耗部品です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。
・部品名：撮像素子、一年保証のみ。追加延長保証対象外です。

■ アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店または別紙ご相談窓口案内をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問合せください。

■ 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知らせください。
- ・品名：カラービデオカメラ
- ・型名：TK-WD9600
- ・お買い上げ日：
- ・故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
- ・ご住所、お名前、電話番号：

■ 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

0120–2727–87

携帯電話･PHS･一部のIP電話･FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX(045)450-2308
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ　http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

LST1310-001A